

いきぶくとねこ

兄弟の子ねこをかっている

いつも仲太りのねこにたら見あつて息を

あらくしていた

そこへすろくとゴキブリが来た

ニ匹の子ねこの肉を喰ごともなくふつて来た

おどろいたねこはいつもおうた仲間

体をよせあつてゴキブリをふけた

この話 実話としてきいて

生き物はたすけあつたねと感心あつた

人何れも生きものの

目いさうねと気がつく

あつてゲルニアの店長おいら

そこへいろうんを業種を体験したベテラン

かへぬ社

あまうらましく行かぬ

それぐにブライドがや

ふたねにそこへ大物を入れた

今までの店長のうのふすと

店長とベテランは仲よく大物に舞踏す

大物がある日 小さい竹がをし
 大物と危長は 当帰をりりして 仰ふく
 ベテラ^バの孤立して 会社をやめてし
 なくまく せほがル^ル 下の竹し
 自分の安全を 守り
 人用の^{アサカ} かと息え
 どうして 皆と 仰下く 出
 存
 同じ会社で 同じ仕事をする
 たい竹あり コースを行
 子ねこと同じ かもしれない

2022
10/30